

●演習ワークシート

実習日： 月 日

研修生番号：

研修生氏名：

事例 1

症例：68 歳，男性

外科へ手術目的のため入院。周術期抗菌薬として院内パスより「セファメジン α」がオーダーされた。薬歴より「セファゾリンナトリウム」にアレルギー歴があることがわかり，調剤した薬剤師より疑義照会した。

演習課題 1

上記事例において，下記の問題点に対して講じておくべき対策や考え得る対策を記述してください。

アレルギー歴への対応について

演習課題 2

処方時の確認について

演習課題 3

実施時の確認について

演習課題 4

薬剤アレルギーについて

●演習ワークシート

事例 2

症例：57 歳，女性

外科へ手術目的のため入院。狭心症の血栓・塞栓形成の抑制のため，他院内科より「アスピリン錠 100 mg」を服用していた。入院時のカルテに「7 日間休薬指示あり。明日予定通りオペとする」と記載があった。薬剤師による入院時面談において休薬していないことが判明。主治医へ伝えオペは延期となった。

演習課題 1

上記事例において下記の問題点に対して講じておくべき対策や考え得る対策を記述してください。

休薬が必要な薬剤の把握について

演習課題 2

入院前の確認について

演習課題 3

入院時の確認について

●演習ワークシート

事例 3

症例：70 歳，男性

交通外傷による骨盤骨折のため入院。喘息発作の既往があり，院内で吸入薬（フルチカゾン＋ウメクリジニウム＋ビランテロール）がオーダーされた。看護師は日頃からその薬を使っていると思い，患者に「1 日 1 回使ってください」とだけ伝えた。

翌日，吸入薬の残量を確認したところ大幅に減っていた。患者はいつもどおり「きついとき」に 5 回程度使ったと回答。バイタル測定より，軽度の頻脈がみられ経過観察となった。

演習課題 1

上記事例において以下の問いに対して回答してください。

吸入薬の分類にはどのようなものがあるか，各分類の吸入薬を使用する際の注意点を記述してください。

演習課題 2

吸入薬の指導で注意すべき点や院内でどのような体制や取り組みがあるとよいか記述してください。

演習課題 3

薬剤師不在時にどのような対応を行えばよいか記述してください。